



## 木材を利用した様々な空間

木材は、材種により風合いや色目などが異なるため、使用する木材により異なる雰囲気空間を演出することができる。また、床、壁、天井の全てを木材仕上げとする場合や、木材をアクセントとして用いる場合など、木材の使い方によっても様々な印象の空間を創り出すことができる。本章では、木材を利用した様々な雰囲気を持つ空間の事例を写真とともに紹介する。

### 自然や町並みに溶け込む木の学校



川上村産のカラマツをふんだんに使用。主構造は村産のカラマツの集成材。カラマツの原生林「美林」をイメージした形態の柱を形成している。(左)管理棟外観、(中央)グラウンド側からの外観、(右)中庭の様子

長野県川上村立川上中学校



校舎全体は、川側に寄せられており、川に向かって開放的な空間となっている。  
(上)グラウンド側校舎外観  
(左)川側の校舎外観

愛媛県八幡浜市立日土小学校



旧今庄町は、北陸への玄関口にある宿場町として栄え、昔ながらの町並みが今なお残っている。校舎の外観や仕上げにその要素を取り入れ、今庄の気候風土にあった町並みに溶け込むデザインを採用。

(上) グラウンド側外観、(左) 正面外観

福井県南越前町立今庄小学校



愛媛県内で現在最古の木造校舎。改修時に外壁は、セピア色の古い卒業アルバムの写真と周辺に住んでいる高齢者への聞き取り調査などをもとに、竣工当時のものを再現したかたちで、県内産のスギ板下見板張りに木材保護塗料仕上げとされた。(左) 東側外観、(右) 木製のサッシ

愛媛県伊予市立翠小学校



城下町の中心に位置する木造校舎であり、学校を含んだ周辺地域が三重県都市景観大賞を受賞している。  
(左) 正面外観、(中) 普通教室棟中庭、(右) 校舎外観

三重県伊賀市立上野西小学校

## 木の教室空間



スギ丸太の登り梁を採用し、そのまま見せる仕上げとなっている。子どもたちも、どのような構造でできているのかが一目瞭然に確認できる。

栃木県茂木町立茂木中学校



普通教室は、外周を全面開口としたオープン形式。普通教室の奥には、2教室で共用の多目的コーナーが設けられている。

### 【施設利用者の声】

- ・白木が利用されているため雨の日でも明るい。
- ・光が差し込み明るく心地よい。

愛媛県八幡浜市立日土小学校



集成材や内装材に、ふんだんに今庄産のスギを使用。  
(左) 普通教室の様子  
(右) 子どもたちのデザインによるサイン

福井県南越前町立今庄小学校



普通教室の天井には、吸音スギ樹皮ボードを使用。

秋田県能代市立浅内小学校



【施設利用者の声】

- ・木部が無塗装であるため、湿度が高い時も結露しにくく、廊下がすべらないので安全。また、シックハウスなどの心配が少ない。
- ・木のぬくもり、柔らかさを感じられ落ち着く。
- ・木材の断熱効果で、コンクリート剥き出しの学校に比べると、底冷えしにくい。
- ・木の香りがしてよい。

佐賀県佐賀市立小中一貫校北山校



普通教室は、両面採光が確保されている。天井は、格子天井が採用されている。

東京都稲城市立若葉台小学校

## 木の音楽室



長野県川上村立川上中学校



三重県熊野市立有馬中学校

### 【施設利用者の声】

- ・音楽室は音響効果も考えられていて、素晴らしい雰囲気と音の中で学習できる。
- ・柔らかみのある温かい感じと木の香りがよい。
- ・机、椅子までカラマツで出来ており視覚的にもやさしく感じる。

## 木のランチルーム



長野県川上村立川上中学校

### 【改修の事例】

内装を木質化することで、あたたかみのあるランチルームにリニューアル。



福島県北塩原村立さくら小学校（RC造）

## 木の図書室



図書室とベランダ。ベランダの先端は、校舎沿いの川の上に突き出しており、ベランダを支える木の柱は敷地内から斜めに伸びている。

**【施設利用者の声】**

- ・図書室は、明るくてとても気持ちがよく、川を眺めてリラックスできる。
- ・ベランダは風が通って心地よい。

愛媛県八幡浜市立日土小学校



埼玉県ときがわ町立萩ヶ丘小学校



子どもたちのくつろぎの場として、床、壁、天井の全面を木質化。

埼玉県ときがわ町立都幾川中学校 (RC 造)

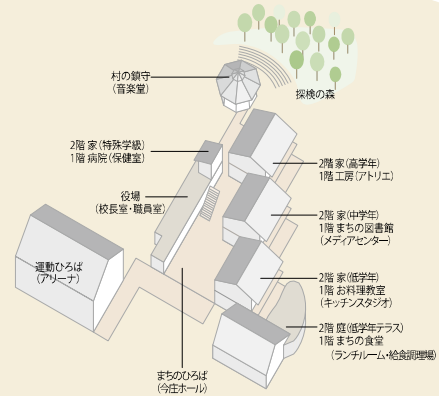


東京都杉並区立高井戸小学校 (RC 造)



内装が木質化された図書室。家具も木製のものが使用されている。

## 木のホール



校舎の中心に設けられた、地域の人も集う今庄ホール。子どもたちと地域住民の交流を育み、地域の目で子どもたちを見守る。

福井県南越前町立今庄小学校



### 【施設利用者の声】

- ・全体が穏やかで居心地がよい。
- ・エントランスホールは、カラマツ林の中で生活している感覚になる。(上) 玄関外観、(右) エントランスホール

長野県川上村立川上中学校



玄関ホールに、町木であるケヤキの柱を設置。伝統技術を表現するため、幹の形をそのまま利用した「手斧（ちょうな）削り」で仕上げている。

(上) 玄関付近のポーチ

(左) 吹抜けのエントランスホール (左奥が手斧ケヤキ柱)

栃木県茂木町立茂木中学校

## 木の廊下



木質化された廊下。普通教室と廊下との間仕切りをすべて可動にして、廊下拡張型のワークスペースと一体で活用することで、多様な学習形態に対応できるようになっている。

愛知県名古屋市立植田東小学校 (RC 造)



### 【施設利用者の声】

- ・廊下は、晴れた日に日なたぼっこができるのでお気に入り。

愛媛県伊予市立翠小学校



教室の両面採光を確保するため、廊下の天井を低く抑え、左手にある光庭に、光が入りやすいよう工夫されている。  
天井には剛性を高めるため、鉄骨ブレースが設置されている。

### 【施設利用者の声】

- ・廊下は、歩いていたら気持ちよくなる。

愛媛県八幡浜市立日土小学校



## 木の階段



旧校舎の改修にあたり、使える材料は再利用している。

埼玉県ときがわ町立萩ヶ丘小学校



愛知県名古屋市長植田東小学校 (RC 造)

愛媛県八幡浜市立日土小学校

## 木を使った教室まわりの空間



富山県滑川市立西部小



間伐材を利用して内装を木質化し、あたたかみのある空間にリニューアル。



## 木のラウンジ



昇降口前に設けられた、木質化されたスクールラウンジ。

【子どもたちの声】

- ・木のおいがして清潔感がある。
- ・あたたかみがあっていい。

愛知県名古屋市立植田東小学校 (RC 造)



幅の広い廊下状の空間で校舎間をつなぎ、ラウンジにもなり、子どもたちの居場所となっている。

愛媛県八幡浜市立日土小学校



内装を木質化し、生徒達のラウンジを整備。地域材を活用した木製家具を備えている。

埼玉県ときがわ町立都幾川中学校 (RC 造)

## 木と畳の空間



埼玉県ときがわ町立玉川保育園



【保護者の声】木の香りがして落ち着いた感じが素敵である。ここで学べる子どもたちは幸せ。

愛知県名古屋市立植田東小学校 (RC 造)

## 丸太の空間



樹齢 65～95 年のスギ丸太 500 本を通し柱や登り梁に活用。2～4 m おきに連立しているスギ丸太により、特徴的な空間が構成されている。

栃木県茂木町立茂木中学校



学校を支える柱として、町有林のスギが活用されている。2 層吹抜のホールには直径 50cm、長さ 10～12m の磨き丸太 11 本が使用されている。

福井県南越前町立今庄小学校

## 掲示しやすい木の空間



東京都杉並区立荻窪小学校 (RC 造)

埼玉県ときがわ町立萩ヶ丘小学校

内装が木材であると、画鋏でどこでも簡単に掲示が可能で掲示の自由度が高まる。吊して掲示することもできる。

## 伝統工法を採用した木の空間



宮城県栗原市立一迫小学校

伝統的な木組みをアレンジした木の昇降口。  
学校にとってモニュメンタルな空間となっている。



高知県立中芸高等学校

伝統的な木組みを生かした武道場。



日本古来の井桁組を題材にした井桁工法を採用し、長スパンを実現。

(左) 多目的スペースで合唱の練習

(上) 図書室と井桁天井

栃木県茂木町立茂木中学校

## 木を使った外部空間



愛媛県八幡浜市立日土小学校

(左) ウッドデッキの中庭  
(右) 川に張り出した木製のテラス



山梨県昭和町立押原小学校

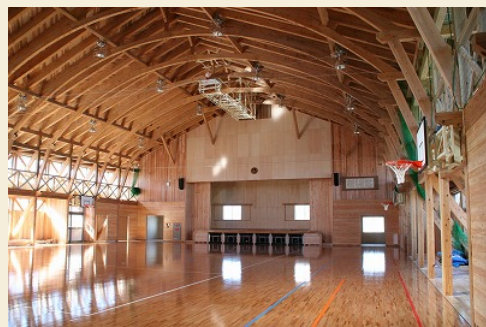
教室に連続したウッドデッキと日照調整の役も果たす木製パーゴラ。

## 木の体育館



秋田県能代市立浅内小学校（トラス架構）

梁は通直集成材を組み合わせて強度を確保。壁にはスギ材の難燃性合板を使用。



大分県中津市立鶴居小学校（アーチ架構）

土台から屋根部分にいたるまで地元産のスギ、ヒノキを使用し、金具の使用を抑えた伝統的な工法で建設。



栃木県茂木町立茂木中学校（トラス架構）

スギの本実加工の無垢板材の横羽目仕上げの上に、スギ板リブ材を貼ることで、均一した強度をもった壁の仕上げを確保。



福井県南越前町立今庄小学校（アーチ架構）

2mピッチで連続するアーチはベイマツとし、つなぎ梁や越屋根のトラスに町有林のスギを使用。



佐賀県佐賀市小中一貫校北山校（RS造・トラス架構）

体育館の床は、強度を上げるため、スギ材の圧縮材を使用。



岐阜県高山市立中山中学校（アーチ架構）

集成材を見せる仕上げとしている。

## 生徒や地域住民が参加した木の学校



ワークショップの様子



サインの絵を描く子ども



放送室サイン



ランチルームのサイン

地域住民も自分たちの町の学校として積極的に利用できるよう、先生、PTA、地域住民の参加するワークショップにより設計を進め、その結果、参加者の思いが詰まった今庄ならではの学校となっている。また、施工期間中には子どもたちが学校のサインづくりに参加し、子どもたちが描いた元気いっぱいのサインで学校中が彩られ、親しみのある建物となっている。

福井県南越前町立今庄小学校



地元のスギ材を活用して、子どもたち、保護者及び学校関係者が協力して校舎の内装木質化を行った。内装工事の際、内装材の裏面に子どもがメッセージを書くことで、校舎に対する思い入れが強くなる。

長野県山ノ内町立北小学校、西小学校

## 5

# 木材を利用した学校づくりに関する今後の課題

木の学校づくりを着実に進めていく上で、学校関係者のみならず、自治体、森林組合、民間業者等が地域一体となった連携が不可欠である。木材調達から建設までの体制づくりにおける今後の課題として、以下のようなことが考えられる。

### ～木材利用が進む社会システムづくり～

大規模な木造建築物は、一時期に大量の木材を調達する必要があるため、小手先の対応は困難であり、川上から川下まで、生産者から発注者、設計者、施工者まで、木を使うことについての共通理解をもち、木の建築づくりのための地域のネットワーク、社会システムを再構築することが必要である。

このためには、一般の住宅に比べて、長尺や断面の大きい木材が一時期に大量に必要なという公共建築物の整備に対応した、品質・性能の確かな木材製品を安定的に供給できる加工体制の整備、木造設計の担い手の育成、耐火性能の高い木材製品の技術開発・実用化が不可欠である。さらに、都道府県、市町村における木材利用推進体制の構築、地域の関係者による自主的な研究、課題解決などの取組も重要である。

学校建築は、このように地域の関係者のつながりが不可欠なものであり、木材利用が進む社会システムづくりの大きなきっかけになり得るものである。このことが、地場産業の活性化、雇用の確保に加え、健全な森林の育成を通じた地球温暖化の防止や循環型社会の形成にも貢献するものである。

### ～コンサルティング的役割を担う組織～

学校施設は大規模であることから、設計、施工、材料供給など、一般の住宅とは異なった対応が必要になる。このため、国、都道府県等が学校施設における木材利用を進めるための体制の整備、情報の提供、支援を行っていく必要があるが、木材利用を進める場合、整備計画の検討から木材の調達、設計、施工にいたるまで、通常の鉄筋コンクリート造以上に地域の関係者の連携が求められる。

今後は、各地域において、学校施設での木材利用の実績を積み重ね、ノウハウを蓄積し、それを活かして、取組を進める必要があるが、将来的には、設計—施工—行政（建設・教育）—材料供給（森林・木材）—地域住民など、関係者の連携を総合的に支援するため、コンサルティング的役割を担う組織の形成も期待される。

### ～規格材の流通促進による価格情報の提供と効率的な積算手法の確立～

学校をはじめとする公共施設は、戦後、多くは鉄筋コンクリート造や鉄骨造によって建築され

てきた時期があったことから、地方公共団体や建築の現場では、鉄筋コンクリート造や鉄骨造に慣れている。建設資材については、生コンクリートや鉄筋などの価格は、地域ごとに建設物価等の資料から容易に入手でき、品質についても J I S で規定されているため、全国的に同等の品質の資材を入手することが可能である。また、積算についても、「歩掛り」等の簡便な計算方法によって計算することができる。

一方、木造では、構造用合板や中断面集成材などの規格品や、3～4 m の正角材等では全国的に見てほとんど同じ価格であるが、公共建築物に必要な大きな断面や特別な品質の部材では、地域によって価格が異なるか、あるいは製品自体が常に市場に出回っていないものもある。そのため、建設物価等の資料に価格が掲載されておらず、そもそも参考となる過去の売買実績がない場合もあることから、発注する職員にとって適正な資材価格を判断することが困難であると考えられる。

こうしたことから、公共施設に必要な大きな断面、長さの部材についても規格化し、より流通させることによって、部材がコストダウンするだけでなく、幅広い種類の部材の価格が建設物価の資料に反映され、信頼性の高い価格情報が提供されるとともに、これらを活用した積算手法が確立されることが望まれる。





## 參考資料

---



# 「学校の木造設計等を考える研究会」実施要領・委員名簿

## 学校の木造設計等を考える研究会 実施要領

平成21年7月2日

林野庁長官決定

文部科学省大臣官房文教施設企画部長決定

### 1 趣旨

木材は、再生可能でカーボンニュートラルな資源であるとともに加工等に必要なエネルギーも低い「環境にやさしい」資材であり、その利用を通じて「低炭素社会」の構築に大きく貢献することが可能である。また、感触のやわらかさ、あたたかさ、高い吸湿性など、人にやさしい天然素材でもある。

このような木材の利用を学校施設の整備において推進することは、豊かな教育環境づくりを進める上で大きな効果が期待できる。

このため、地方公共団体や設計者等が、学校施設の木造化に取り組みやすくするための方策について検討を行う。

### 2 検討事項

- ・木材の利用の意義と効果について
- ・木造化に取り組みやすくするための方策について
- ・その他

### 3 実施方法

別紙の学識経験者等の協力を得て、2に掲げる事項について検討を行う。なお、必要に応じて、その他の関係者の協力を求めることができる。

### 4 その他

この研究会に関する庶務は、林野庁林政部木材利用課と文部科学省大臣官房文教施設企画部施設助成課において処理する。

別紙

## 学校の木造設計等を考える研究会 委員名簿

座長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員
		長澤 悟	山辺 豊彦	加来 照彦	飯島 泰男	小林 大介	岡田 恒	青井 秀樹	小崎 正浩	オプザーバー	
		東洋大学 理工学部建築学科 教授	有限会社山辺構造設計事務所 代表取締役	株式会社現代計画研究所 取締役	秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授	横浜国立大学 教育人間科学部技術教育講座 講師	財団法人日本住宅・木材技術センター試験研究所長	独立行政法人森林総合研究所 主任研究員	栃木県茂木町教育委員会 生涯学習課課長補佐		国土交通省



## 木材を活用した学校施設の紹介事例の工事費等

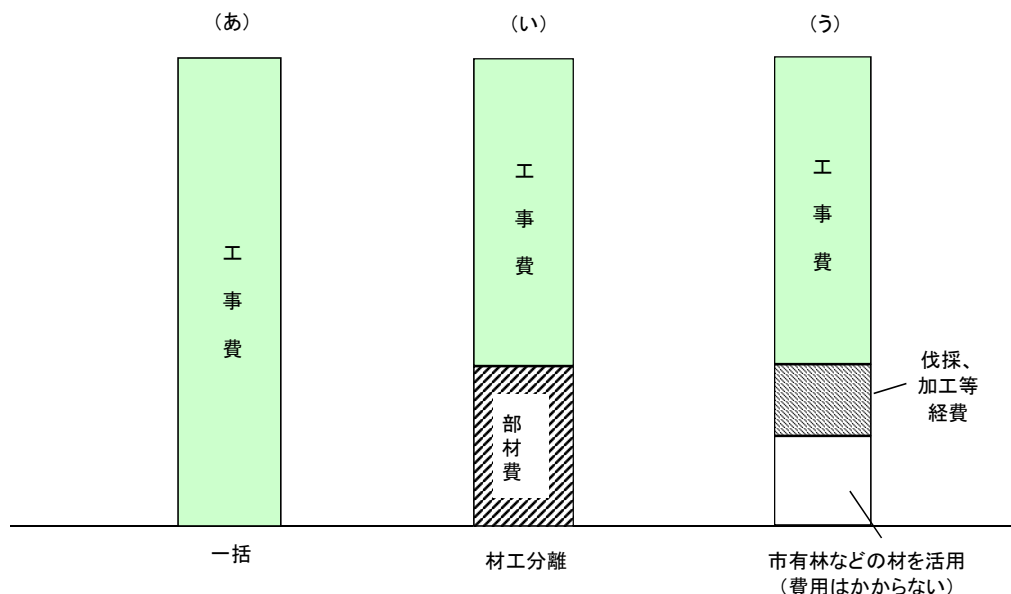
事例として取り上げた学校のうち幾つかについて、工事費、木材調達の形式等を紹介する。

設置者名	学校名	建物区分	工事区分	工事期間	構造階数	延床面積 (㎡)	工事費一式 (千円)	工事費 (千円)	部材費 (千円)	伐採・加工等経費 (千円)	単価 (千円)	木材使用量 (m <sup>3</sup> )	木材調達の形式	掲載ページ
<b>(木造施設)</b>														
<b>3-1(1) 木材利用の目的の明確化と共通理解</b>														
◆関係者が連携した学校づくりの体制の構築														
大分県中津市	鶴居小学校	屋体	改築	H20.9~H22.2	W2	975	167,291	167,291	-	-	172	313.2	(あ)	29, 116
<b>3-1(3) 木材を利用する学校づくりの進め方</b>														
◆主に市町村有林を伐採して利用する場合														
栃木県茂木町	茂木中学校	校舎・屋体	改築	H19.6~H20.12	校舎:RC1 屋体:W2(一部RC)	6,883	1,582,868	1,534,439	-	48,429	230	1,580.0	(う)	13,16.23, 30,58.93, 115.129
長野県川上村	川上中学校	校舎・屋体	改築	H19.6~H21.3	W2(一部RC) 準耐火建築物	6,503	1,795,500	1,795,500	-	-	276	1,625.0	(あ)	17, 61
佐賀県佐賀市	小中一貫校 北山校	校舎	改築	H19.7~H20.2	教室棟:W2 管理棟:RC2	3,425	659,886	600,386	-	59,500	193	545.0	(う)	63, 130
福井県南越前町	今庄小学校	校舎・屋体	改築	H17.8~H19.3	RW2 準耐火建築物	5,474	1,515,926	1,495,032	-	20,894	277	683.0	(う)	28, 65
◆主に地元の森林を伐採して利用する場合														
新潟県妙高市	新井小学校	校舎	改築	H21.6~H22.11	RC2(屋根W)	7,330	1,767,947	1,767,947	-	-	241	1,558.0	(あ)	15, 67
岐阜県高山市	中山中学校	校舎・屋体	改築	H18.6~H21.3	校舎:W2 屋体:RC1 管理棟:RC2	7,736	2,222,190	2,185,965	36,225	-	287	1,171.1	(い)	48, 69
福島県 会津美里町	宮川小学校	校舎	新築	H17.9~H18.10	W2(一部RC)	3,953	1,388,000	1,388,000	-	-	351	271.0	(あ)	71, 125
◆主に流通材を利用する場合														
秋田県能代市	浅内小学校	校舎	改築	H17.3~H18.3	W2	3,743	728,466	728,466	-	-	195	891.0	(あ)	25, 47, 49 72, 117, 129
		屋体	改築	H17.3~H18.3	W1(一部RC)	1,370	340,657	340,657	-	-	249	339.0	(あ)	
岩手県遠野市	上郷小学校	校舎・屋体	改築	H17.8~H19.2	校舎:W2(一部RC) 屋体:W1(一部RC)	3,931	849,150	849,150	-	-	216	534.0	(あ)	73, 129
兵庫県猪名川町	大島小学校	校舎	改築	H18.6~H19.3	W2	986	388,731	388,731	-	-	394	246.0	(あ)	75
東京都稲城市	若葉台小学校	校舎・屋体	新築	H9.8~H11.3	管理・特別教室棟:RC2 普通教室棟:W2 屋体:RC1(屋根W) 準耐火建築物	6,340	2,110,505	2,110,505	-	-	333	598.0	(あ)	76
学校法人幕張インターナショナルスクール	幕張インターナショナルスクール	校舎	新築	H20.6~H21.3	W1	3,644	952,200	952,200	-	-	261	391.4	(あ)	77
<b>3-1(4) コストを抑えるための設計上の工夫</b>														
三重県	四日市南高等学校	格技場	改築	H16.11~H17.3	W1	344	86,625	86,625	-	-	252	-	(あ)	107
三重県	菟野高等学校	格技場	改築	H19.6~H20.1	W1	344	99,285	99,285	-	-	289	84.0	(あ)	107
高知県	中芸高等学校	格技場	改築	H6.12~H7.8	W1	540	105,829	105,829	-	-	196	-	(あ)	108
福井県	大野東高等学校	格技場	改築	H14.1~H14.12	W1	449	107,493	107,493	-	-	239	-	(あ)	109
福井県	羽水高等学校	格技場	改築	H14.3~H15.1	W1	450	147,214	147,214	-	-	327	-	(あ)	109
茨城県つくば市	東小学校	校舎・屋体	新築	H6.7~H7.3	W2(一部RC)	6,450	1,607,042	1,460,782	146,260	-	249	-	(い)	110, 121
学校法人内田学園	七沢希望の丘小学校	校舎	新築	H19.11~H20.11	W2(一部RC)	1,230	323,000	323,000	-	-	263	160.0	(あ)	112
長野県	稲荷山養護学校	校舎	改築	H16.4~H19.3	W2(一部RC)	14,461	4,025,425	4,025,425	-	-	278	3,761.4	(あ)	31, 47, 50 103, 118
滋賀県高島市	朽木東小中学校	屋体	改築	H21.9~H23.2	RC1(屋根W)	1,483	546,479	479,693	-	66,786	368	363.0	(う)	119

設置者名	学校名	建物区分	工事区分	工事期間	構造階数	延床面積 (㎡)	工事費一式 (千円)	工事費 (千円)	部材費 (千円)	伐採、加工等経費 (千円)	単価 (千円)	木材使用量 (m <sup>3</sup> )	木材調達の形式	掲載ページ
<b>3- (5) 既存木造学校施設の耐震補強・改修の意義とその方法</b>														
愛媛県八幡浜市	日土小学校	校舎	改修	H20.9~H21.6	W2	2,020	442,577	442,577	-	-	219	573.2	(あ)	25, 134, 137
三重県大台町	協和中学校	校舎	改修	H19.4~H20.2	W1	1,350	56,472	56,472	-	-	42	23.2	(あ)	141
愛知県豊田市	足助小学校	屋体	改修	H18.6~H18.10	W1	644	20,415	20,415	-	-	32	-	(あ)	143
	追分小学校	校舎	改修	H18.6~H18.9	W2	836	35,067	35,067	-	-	42	-	(あ)	143
愛媛県伊予市	翠小学校	校舎・校務員棟	改修	H21.3~H22.2	W2	2,129	332,000	332,000	-	-	156	129.1	(あ)	147
<b>(内装木質化施設)</b>														
<b>3- (3) 木材を利用する学校づくりの進め方</b>														
◆内装を木質化する場合														
埼玉県ときがわ町	都幾川中学校	校舎	改修	H21.7~H21.8	RC3	2,995	99,435	99,435	-	-	33	61.0	(あ)	10, 79, 126
島根県海士町	海士中学校	校舎・屋体	改修	H20.6~H21.3	校舎:RC3 屋体:S1	4,370	147,676	147,676	-	-	34	57.0	(あ)	81
埼玉県	浦和高等学校	校舎	改修	H20.6~H20.11	RC4	3,455	282,289	282,289	-	-	82	15.5	(あ)	83
兵庫県神戸市	多聞東中学校	校舎	改修	H19.3~H20.3	RC4	6,540	550,000	550,000	-	-	84	0.5	(あ)	85
長野県高森町	高森南小学校	校舎	改修	H19.7~H20.3	RC3	6,232	330,603	330,603	-	-	53	7,996.0	(あ)	86
愛知県名古屋	植田東小学校	校舎・屋体	新築	H19.12~H21.3	校舎:RC2(一部3階) 屋体:S1	8,370	1,948,239	1,948,239	-	-	233	271.0	(あ)	87
東京都杉並区	高井戸小学校	校舎	改築(一部改修)	H18.7~H20.3	RC4	8,314	1,913,730	1,913,730	-	-	230	2,238.4	(あ)	9, 89
東京都港区	白金台幼稚園	園舎	改築	H19.5~H20.12	RC2(屋外倉庫W)	1,011	389,839	389,839	-	-	386	53.0	(あ)	91
<b>3- (4) コストを抑えるための設計上の工夫</b>														
東京都八王子市	みなみ野小学校	校舎	新築	H8.2~H9.3	RC2(一部地下1階)	3,371	-	-	-	-	-	-	-	127
千葉県八千代市	みどりが丘小学校	校舎	新築	H21.6~H22.3	RC3	9,300	2,297,939	2,297,939	-	-	247	274.1	(あ)	131

※屋体:屋内体育館  
 ※W造であって準耐火建築物の場合、「構造階数」に記載  
 ※工事費は契約額ベース  
 ※木材使用量について、不明なものは「-」と表記

### 木材調達の形式





## 学校施設の木材利用に関して、これまでに作成された事例集、手引書等

### あたたかみとうるおいのある木の学校選集（平成10年4月 文部省）

平成9年度に文部科学省が行った調査研究をまとめたものです。「木の学校」の魅力について解説する解説編、国内外の特長のある木を活用した学校施設を、写真、図版により紹介する事例編、文部科学省や林野庁の木材に関する施策等を掲載する資料編から構成されています。

（出版の問い合わせ先：ポイックス株式会社 03（3769）5321）

### 木の学校づくり その構想からメンテナンスまで（平成11年2月 文部省）

建築計画や構造設計、資材調達方法、メンテナンス等、木材を活用した学校づくりに必要な知識が総合的にまとめられています。また、全国の優秀な事例を豊富にとりあげ、写真、図版により具体的に紹介しています。

（発行所：丸善株式会社 03（6367）6031）

※品切れ中であり、増刷予定なし。入手する際は、インターネット等で探していただくことになります。

### あたたかみとうるおいのある木の学校（平成16年4月 文部科学省）

平成10年4月に刊行された「あたたかみとうるおいのある木の学校選集」の続編として、その後各地で建設された木造学校施設の事例を、計画の意図・プロセス・評価等とあわせ紹介しています。

（出版の問い合わせ先：ポイックス株式会社 03（3769）5321）

### あたたかみとうるおいのある木の学校 早わかり木の学校（平成19年12月 文部科学省）

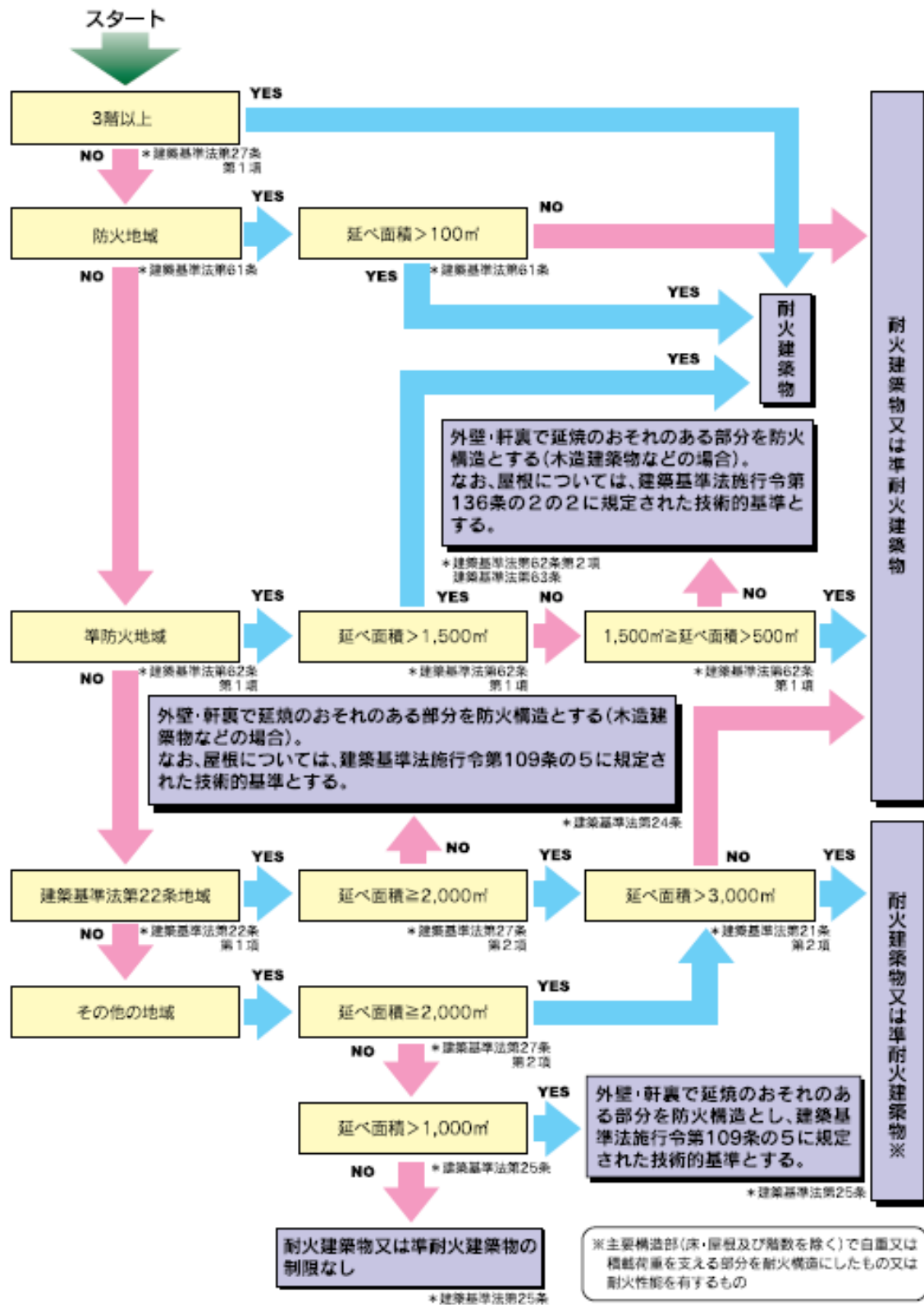
学校施設の整備における木の活用に関する課題解決の留意点などを解説する手引書です。学校施設における木の活用に関する効果と意義について解説する第1章、木の活用における課題についてQ&A形式で解説する第2章、文部科学省や林野庁の木材に関する施策等を掲載する資料編から構成されています。

（出版の問い合わせ先：ポイックス株式会社 03（3769）5321）

※文部科学省のホームページに掲載。



## 防火上の法規制（面積・階数などによる防火上の制限に関するフロー）



※「あたたかみとうるおいのある木の学校 早わかり木の学校」(平成19年12月文部科学省)より抜粋